

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	令和3年4月1日	終期	令和4年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		子ども食堂等活動支援補助金 コロナ禍において、従来の子ども食堂としての活動休止や、活動形態を食堂から弁当配布や食材配布などに変えて活動している団体に対して、活動の再開および継続するための資金として支援する。					
款・項・目		民生費 児童福祉費 児童福祉総務費					
所属等		こども未来部 こども政策課 虐待対応グループ				電話 3 1 1 9 5	

年 度		令和3年度（1年目）		令和4年度（2年目）		令和5年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	3,900	国 3,900				
	決算(千円)	2,315	国 2,315				
補 助 率		10/10		10/10		10/10	
目 標		申請子ども食堂数：26ヵ所 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上	65.4%	17ヵ所				
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		活動チラシ、ホームページなど					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 臨時交付金10/10であるため。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> コロナ禍において、活動自粛を継続している団体もあり、申請数の低下に繋がったと考える。			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 新しい生活様式での子ども食堂の活動に必要なものの準備等には、一定の支援が出来たものとする。今後、アフターコロナ、ウィズコロナでこれから再開を目指す団体も想定され、開催形式も単純にコロナ前には戻れないことも予想されることから、国の支援施策などにも注視し、支援のあり方を検討していく。					